

『「昭和信用金庫」及び「世田谷信用金庫」と 「一般財団法人世田谷トラストまちづくり」が協定を締結し、 地域課題に挑戦する市民活動支援の 新たな仕組みづくりをスタート』

「一般財団法人世田谷トラストまちづくり」と「昭和信用金庫」及び「世田谷信用金庫」の二つの地元金融機関は、世田谷区の区民主体による地域課題解決力を高めるために、『市民まちづくり支援に関する協定』を平成26年10月21日、22日に締結しました。

財団では、これまで20年以上、区内の市民まちづくりの支援を行ってきており、350近くの団体とのネットワークを築いてきました。その中で、ボランティアベースによる活動の持続性の課題や地域課題の解決を事業化で目指す団体へのニーズに対応する、さらなる支援の拡充が求められています。

一方、信用金庫は、区内の事業者や商店街等への支援を通じた、融資や経営アドバイスなどのノウハウの蓄積と地元企業や専門家等とのネットワークがあり、地域の活性化支援などの社会貢献活動にも取り組んでいます。

この協定締結を機に、お互いの持つ情報、ノウハウ、ネットワークを連携させ、地域課題の解決に持続的に取り組むまちづくり団体を支援する、新たな仕組み「まちづくり活動支援プラットフォーム」づくりをスタートさせます。これから、地域や団体の課題抽出を行い、まちづくり団体の組織基盤強化や事業企画への専門的支援といった、支援方法の調査・研究を進める研究会の発足を予定しています。



昭和信用金庫（10/21）

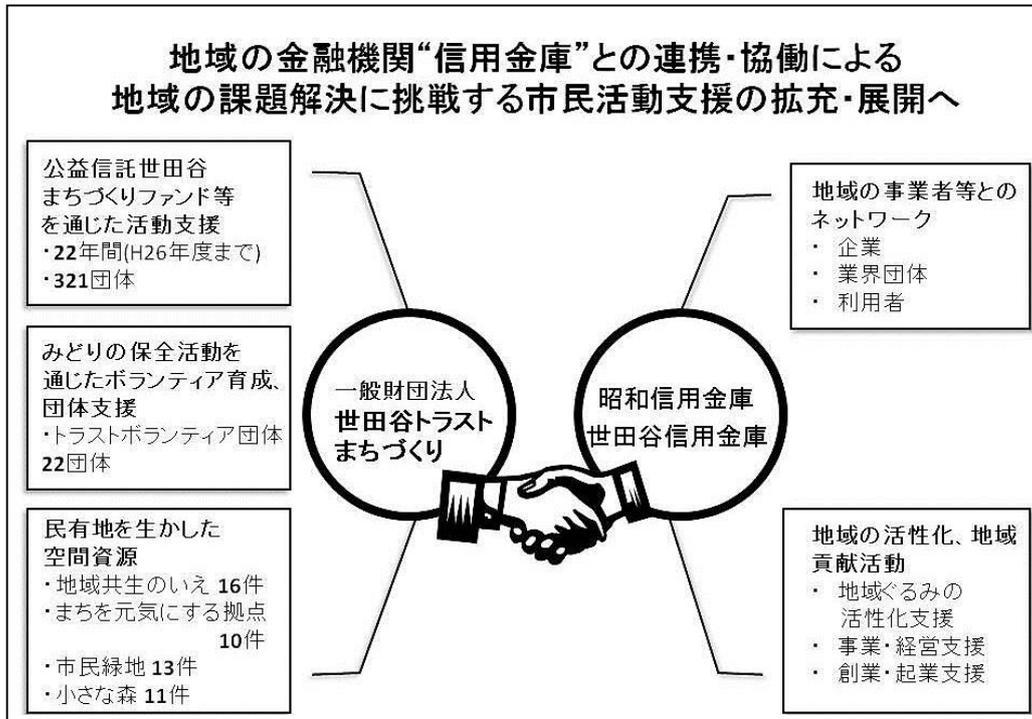


世田谷信用金庫（10/22）



■地元金融機関「昭和信用金庫」及び「世田谷信用金庫」との連携・協働について

当財団は、この協定締結を機に、それぞれの持つ情報、ノウハウやネットワーク、地域資源を活かし、協力して新たな市民まちづくり支援の仕組みの構築に取り組んでいきます。



■「まちづくり活動支援プラットフォーム」について

当財団は、今年度より、区民主体による地域課題の解決力を高めるための「まちづくり活動支援プラットフォーム」の構築に取り組んでいます。

財団が支援窓口機能を担い、地元金融機関、企業、他の中間支援組織、様々な分野の専門家等と連携して市民まちづくりを支援する仕組みです。

